

令和4年度 認知症初期集中支援チームの活動状況について

●認知症初期集中支援チームとは

認知症の専門知識を持ったチーム員が、市内在住の認知症またはその疑いのある人やその家族を訪問します。受診勧奨、治療を適切に受けるお手伝い、介護サービスの導入や調整、家族支援などを短期間に集中して行います。

【対象者】

- 40歳以上で、自宅で生活しており、認知症が疑われる人、または認知症の人で、
- ・病院を受診できていない、介護サービスを受けていない人、または中断している人
- ・医療サービスや介護サービスを受けているが、うまく利用できていない人 など

●支援したケースの報告

通し番号	年齢	性別	世帯	把握ルート				
No.1	78	女性	独居	その他(生活相談課)				
依頼内容	専門職の介入により受診、その他必要な支援につなぐ。							
支援経過	チームの訪問により健康状態、日常生活の確認を行った。チーム医の診察により介護保険申請を行った。家賃滞納により退去を余儀なくされ施設への一時保護を経て入所となった。							
サービス導入・引継ぎ	認知症診断	あり	介護保険申請	あり	居宅介護サービス利用	—	引継ぎ先	施設入所

通し番号	年齢	性別	世帯	把握ルート				
No.2	82	女性	夫婦2人暮らし	夫の介護支援専門員				
依頼内容	セルフネグレクト傾向 医療に繋げて医学的判断を仰ぎ、介護サービスへつなぐ。							
支援経過	夫の死亡を受け、独居となったためチーム員の訪問、チーム医の診察にて介護保険申請、サービス導入に至った。(R5終了)							
サービス導入・引継ぎ	認知症診断	あり	介護保険申請	あり	居宅介護サービス利用	あり	引継ぎ先	介護支援専門員

通し番号	年齢	性別	世帯	把握ルート				
No.3	83	男性	夫婦2人暮らし	家族から				
依頼内容	認知症の診断と継続的受療につなげ、適切なサービスを導入する。							
支援経過	健康状態の把握、住環境の確認を行う。チーム医による往診中に救急搬送の状態になり入院治療。その後、自宅での妻による介護は不可能と総合的に判断され施設入所となる。							
サービス導入・引継ぎ	認知症診断	あり	介護保険申請	あり	居宅介護サービス利用	—	引継ぎ先	施設入所

通し番号	年齢	性別	世帯	把握ルート				
No.4	81	女性	独居	民生委員				
依頼内容	適切な医療、介護サービスへつなぐ。							
支援経過	チーム支援により介護保険申請手続き可能になった。しかし本人に受診の意思はなく、セルフネグレクトの状態、不衛生な環境は改善困難。本人がSOSを出した時に瞬時にチームが受け止め、根気強く介入したことからサービス導入に至る。(R5終了)							
サービス導入・引継ぎ	認知症診断	あり	介護保険申請	あり	居宅介護サービス利用	あり	引継ぎ先	介護支援専門員

●支援の結果

認知症の診断に至り、かつ介護保険サービスの利用につながった	2人
認知症の診断及び介護保険申請に至り、施設入所となった	2人